

平成22年度 1月号



二中だより



◆校訓 まごころ

◆学校教育目標 明朗 向上 自主・自立
《40周年テーマ 伝統と誇りある学校の創造》

新座市立第二中学校
新座市野火止7-17-10
☎ 048(477)1212

新年を迎え新たな気持ちで

新年あけましておめでとうございます。旧年中は保後者、地域の皆様には、大変お世話になりました。平成23年も新たな気持ちでより一層充実した教育活動が進められるよう努力をしてまいります。なにとぞよろしく願いいたします。

新年というのは、大晦日から一日変わるだけですが、何かとても新鮮な力がわいてくる感じがします。我々の生活には節がありますが、節ごとに気持ちを新たにしていよいよ機会でもあります。新年のこの時期に、新たな目標をもって臨んでいきたいと思えます。「一年の計は元旦にあり」何事も最初が大切です。新たな一年を思い、一年の計をご家族でも話し合ってみてください。

今年は「卯年」ですが、「卯」とは「門を無理に押しあけて中に入りこむさま」を示している漢字だそうです。ウサギのイメージとはやや異なるような気がします「積極的に新しいことに挑戦していける」そんな年にしたいものです。

目標に向かって

毎年の1月2・3日の2日間は箱根駅伝を見ることが私の恒例になっています。この日に箱根を走る為に積み上げてきた選手達が、チームの為に精一杯の気持ちで臨む姿にいつも感動させられます。

1年生から選手に選ばれ大活躍する選手もいれば、4年生で初めて走る選手もいます。エースといわれながら故障に苦しみやっと代表に選ばれた選手、そして4年間代表には選ばれなくても、チームを支え続けた選手もいます。多くの人々の力を支えに、実力以上の結果を出せてしまう選手がいることも駅伝のおもしろさです。

選手達は、「箱根で走る」という目標をも

新たな伝統を作る挑戦の年に

校長 森田和憲

ちこれまで頑張ってきています。夢がかなうかどうかは、実力、運など色々な要素があると思いますが、自分が決めた目標に向かっていく姿をみると、今年もがんばるぞという気持ちがわいてきます。

結果を気にせず、目標に向かって前進していく気持ちを是非持ってほしいと思えます。

人のために尽くす

1月9日・10日に「もうひとつの箱根駅伝」というイベントがある事を初めて知りました。5年前から神奈川大学など神奈川県内の大学の探検部や冒険部などが中心となって始め、箱根駅伝の往路と同じコースと中継所を使って沿道のごみ拾いをするイベントです。

箱根駅伝の後にはゴミが多く、それまでは地元の方が掃除されていたそうです。学生達が、自分たちの手で綺麗にしようと企画したのがきっかけとなり、22大学から約120人もの人々が参加するイベントになりました。ただ、単なるゴミ拾い大会ではなく2日間かけて、たすきをリレーしながらゴミの量とタイムで競いあう仕組みになっているそうです。

なんだかとってもさわやかで素敵なお話ではありませんか。

2学期に本校の野球部が山下杯という大会で表彰されました。昨年度は優勝した大会でしたが、今回は残念ながら負けてしまいました。しかし選手達があいさつをしっかりとし、試合後は必ずスタンドやベンチのゴミ拾いをするなどさわやかな姿が表彰につながったとのこと。

勝敗だけでないさわやかさを感じます。

今年も頑張ってください。

